

学校危機メンタルサポートセンター 第2回フォーラム実施要項

1. メインテーマ： 学校危機の諸相とその予防戦略を考える

2. 趣旨

近年、学校における危機管理が必要とされる事件・事故の内容は、犯罪事件をはじめ、虐待やいじめ、引きこもり、さらには集団食中毒や自然災害など多様化している。そのため、単に学校のみでは十分な対応をとることができにくい状況が数多く見受けられる。このような状況から、全国共同利用施設である学校危機メンタルサポートセンターでは、学校における危機管理の取り組みを推進することを目的とした多元的危機管理システムの構築の可能性を探求しているところである。

そこで前回のフォーラムに引き続き「学校危機の諸相とその予防戦略を考える」をメインテーマとし、今回は社会保障体系からみた、特に健全育成の観点を中心に据えた多元的な学校危機管理システム構築の可能性とその課題を明らかにすることを内容とした第2回フォーラムを開催し、今後、学校危機管理への積極的な参加が期待される関係諸機関の教職員を対象とした危機管理意識の普及啓発を図りたいと考えている。

3. 日時

平成17年8月20日(土) 午前10時～午後4時30分

4. 会場

アルカニックホール・オクト(尼崎市昭和通2-7-16 <http://www.archaic.or.jp/>)

5. 主催

大阪教育大学 学校危機メンタルサポートセンター(全国共同利用施設)

6. 後援

兵庫県, 大阪府, 独立行政法人日本スポーツ振興センター,
兵庫県警察本部, 大阪府警察本部,
兵庫県教育委員会, 大阪府教育委員会, 神戸市教育委員会, 大阪市教育委員会,
兵庫県社会福祉協議会, 大阪府社会福祉協議会

7. 対象

- (1) 国・公・私立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、盲学校、聾学校及び養護学校の教職員等学校関係者
- (2) 都道府県及び市町村教育委員会の学校安全・学校保健・学校給食担当者
- (3) 都道府県警察本部及び各警察署の地域安全活動関係者
- (4) 都道府県及び市町村保健所の保健師並びに地域保健担当者
- (5) 都道府県及び市町村の社会福祉事務所並びに社会福祉協議会の健全育成担当者

8. 参加費

1000 円（資料集代）

9. 内容

(1) 開会行事（10：30～11：00）

開会挨拶：長尾彰夫（大阪教育大学副学長・理事）

来賓祝辞：齋藤富雄（兵庫県副知事）

白井 文（尼崎市長）

(2) 基調講演（11：00～12：00）

「いのちを愛しむ社会の形成をめざした地域と学校の連携」

厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 虐待防止対策室長 山本麻里

(3) 休憩（12：00～13：00）

(4) 第2回シンポジウム（13：00～16：20）〔途中休憩 20分〕

「学校危機に対する地域資源の連携・協力体制構築の可能性」

コーディネーター 藤田大輔（大阪教育大学教授）

シンポジスト

- ・保健室経営の観点から 小笹典子（秋田市立泉中学校養護教諭）
- ・警察行政の観点から 平井公雄（大阪府警察本部 安全なまちづくり推進室長）
- ・救命救急の観点から 藤井千穂（旭川荘南愛媛病院長
・前大阪府立千里救命救急センター所長）
- ・地域保健の観点から 山階 学（大阪府寝屋川保健所長）

- ・ 社会福祉の観点から 正賀スミ（伊丹市社会福祉協議会長）

指定発言 石附 弘（(財)国際交通安全学会専務理事・元長崎県警察本部長）

溝田 勉（長崎大学熱帯医学研究所教授・元ユニセフ駐日副代表）

小山健蔵（大阪教育大学教授・学長補佐(学校安全担当)）

(5) 閉会行事（16：20～16：30）

閉会の辞：秋葉 英則（大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター長）